

令和5年度事業報告書

事業担当部署 生涯教育委員会 報告者 酒井映子

事業区分	公益 3												
事業名称	愛知県栄養士会 第3回生涯教育基本研修(演習)												
事業概要	目的	管理栄養士・栄養士の資質向上のため、専門業務の見直しと改善のための手法(実践研究)を習得する。 本年度は昨年の研修内容を継続して行い、各職域部会で取り上げた課題への取り組みにより専門業務の評価と改善への方策について検証する。											
	内容	<table border="1"> <tr> <td>日時</td> <td>第3回: 令和5年11月11日(土)(7月、9月、11月の3回シリーズ)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>偕行会城西病院内会議室</td> </tr> <tr> <td>対象及び参加予定数</td> <td>会員約50名(各職域7名前後)昨年参加者(約30名)は原則継続</td> </tr> <tr> <td>内容のプログラム等</td> <td>各回: 基調講演、グループワーキング、全体討論(各部会の報告と質疑応答、テーマに関する意見交換)、振り返り(Homeworkの説明、諸連絡等)</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>愛知県栄養士会員13名 スタッフ6名 事務局1名</td> </tr> <tr> <td>結果概要等</td> <td>1.基調講演(30分)と2.グループワーク(60分)の合計90分 : テーマ「実践研究における課題のまとめ方を養うために必要なスキルとしての、報告書の作成方法とプレゼンテーションについて」講師: 相山女学園大学 三田有紀子先生。講演内容は、論理的思考を深めるための解析結果のまとめ方について、リサーチクエストの計画(研究デザイン、プロトコル)→実施(データ収集・解析等)→報告(論文執筆、投稿・発表)の流れの中の報告に該当すること、実践報告会2023に向けて手順に従って、演題のつけ方、所属・氏名の書き方、本文の目的、方法、結果、考察、結論の書き方の事例を示しながら詳細で分かり易い講義と並行して、演習(グループワーク)が行われた。第1回の後藤先生、第2回の北森先生も加わっていた。各職域部会が取り上げた課題のまとめ方についてアドバイスをいただいた。目的では論点が明確でない場合の明瞭な書き方、方法では記載が必要な項目や内容が端的に示されていない場合の記述の仕方、目的と結論が異なる場合の結論の内容の整理等について、2回目までに検討してきた課題についてKJ式を応用したワーキングによって、実際に要旨を書く演習を通して、今回の研修目標である論理的に考えて記述することを学ぶことができた。3. 職域部会別演習(60分): 実践報告会に向けて発表の準備が行われた。4. 全体の話し合い(30分): 職域部会告内容や今後の取り組み等について、講師の先生方からアドバイスを頂いた。5. その他(15分) 実践報告会について昨年度との変更点を中心に説明が行われた。職域部会別研修記録、本研修に関するアンケート調査結果は、次年度の研修のあり方に関する検討の際の参考としたい。</td> </tr> </table>	日時	第3回: 令和5年11月11日(土)(7月、9月、11月の3回シリーズ)	場所	偕行会城西病院内会議室	対象及び参加予定数	会員約50名(各職域7名前後)昨年参加者(約30名)は原則継続	内容のプログラム等	各回: 基調講演、グループワーキング、全体討論(各部会の報告と質疑応答、テーマに関する意見交換)、振り返り(Homeworkの説明、諸連絡等)	参加者	愛知県栄養士会員13名 スタッフ6名 事務局1名	結果概要等
日時	第3回: 令和5年11月11日(土)(7月、9月、11月の3回シリーズ)												
場所	偕行会城西病院内会議室												
対象及び参加予定数	会員約50名(各職域7名前後)昨年参加者(約30名)は原則継続												
内容のプログラム等	各回: 基調講演、グループワーキング、全体討論(各部会の報告と質疑応答、テーマに関する意見交換)、振り返り(Homeworkの説明、諸連絡等)												
参加者	愛知県栄養士会員13名 スタッフ6名 事務局1名												
結果概要等	1.基調講演(30分)と2.グループワーク(60分)の合計90分 : テーマ「実践研究における課題のまとめ方を養うために必要なスキルとしての、報告書の作成方法とプレゼンテーションについて」講師: 相山女学園大学 三田有紀子先生。講演内容は、論理的思考を深めるための解析結果のまとめ方について、リサーチクエストの計画(研究デザイン、プロトコル)→実施(データ収集・解析等)→報告(論文執筆、投稿・発表)の流れの中の報告に該当すること、実践報告会2023に向けて手順に従って、演題のつけ方、所属・氏名の書き方、本文の目的、方法、結果、考察、結論の書き方の事例を示しながら詳細で分かり易い講義と並行して、演習(グループワーク)が行われた。第1回の後藤先生、第2回の北森先生も加わっていた。各職域部会が取り上げた課題のまとめ方についてアドバイスをいただいた。目的では論点が明確でない場合の明瞭な書き方、方法では記載が必要な項目や内容が端的に示されていない場合の記述の仕方、目的と結論が異なる場合の結論の内容の整理等について、2回目までに検討してきた課題についてKJ式を応用したワーキングによって、実際に要旨を書く演習を通して、今回の研修目標である論理的に考えて記述することを学ぶことができた。3. 職域部会別演習(60分): 実践報告会に向けて発表の準備が行われた。4. 全体の話し合い(30分): 職域部会告内容や今後の取り組み等について、講師の先生方からアドバイスを頂いた。5. その他(15分) 実践報告会について昨年度との変更点を中心に説明が行われた。職域部会別研修記録、本研修に関するアンケート調査結果は、次年度の研修のあり方に関する検討の際の参考としたい。												

		収入金額	支出金額	残額
当初予算	令和5年度予算	193,500	193,500	0
当年度実績	第1回目研修等 実績	94,500	76,770	17,730
	第2回目研修等 実績	0	29,500	-11,770
	第3回目研修等 実績	0	29,680	-41,450

予算	科目	金額	積算基礎
収入	事業収入	180,000	愛知県会員 参加費 1回 ¥1,500円 × 3回 × 40名
		6,000	他県栄養士会員 参加費 1回 ¥2,000 × 3回 × 1名
		7,500	非会員 参加費 1回 ¥2,500 × 3回 × 1名
	計	193,500	
支出	講師謝礼金	75,000	講師料(@ ¥25,000 × 3名)
	旅費交通費	18,000	委員の交通費(@ ¥1000- × 6名 × 3回を想定)
	通信運搬費	252	依頼文郵送費
	事業運営費	84,000	会場費(ウインクあいち会議室 ¥14,000 × 2室 × 3回)
	〃	16,248	マイク等備品借用、消毒用アルコール、講師お茶、消耗品等
計		193,500	
決算	収入	0	
	計	0	
	支出	25,000	講師料
	旅費交通費	4,680	委員交通費(6名)
計		29,680	

令和 5 年 12 月 理事会報告

広報-HP,生涯教育,食育推進,在宅医療-介護,ｽｰｯ栄養・JDA-DAT 委員会

日時	12月2日(土) 時間: 10:00~11:30	場所	愛知県栄養士会事務室、オンライン
出席者	酒井、影山、塩野、前田、田中、水田、吉田、上原 (事務局:永戸)		
協議事項 及び 決定事項	<p>1. 2023年度 生涯教育基本研修の点検・評価について 参加者へのアンケート調査結果に基づいて行った点検・評価の要点は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回「先行研究等の抄読法」、第2回「統計解析と活用法」、第3回「課題に関する検討結果のまとめ方(抄録の書き方)とプレゼンテーション法」について、実践研究の理論の理解を深めるとともに演習を通してスキルアップを図ることができた。 ・参加者が20名と少数であったことは、次年度の研修会開催への課題である。 ・取り上げた課題をまとめるには3回の研修回数では少ないので、4回にするとよい。 <p>2. 2023年度 実践報告会に関する生涯教育委員の役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月2日現在の演題応募数は、生涯教育研修グループ5題、一般3題の計8題であった。演題数が決定されたので、13時30分から16時30分までの3時間で基調講演、ラウンドテーブルディスカッション方式の演題発表、全体検討のプログラムを組み立てることが可能となった。 ・実践報告会の当日は、学術部会員に協力して生涯教育委員もプログラム内容が円滑に展開できるように運営補助の役割を担うことを確認した。 <p>3. 2024年度 生涯教育基本研修の活動方針と計画(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修目的(会員の資質向上)と研修内容(①実践研究法の習得、②取り上げた課題に関する演習、③実践報告会等での発表)は継続する。講師3名も引き続き依頼する。 ・研修会で取り上げる課題等の詳細は次年度の委員会で検討する。 ・研修回数は1回分増やして連続講座4回とする。 ・2年任期の委員は2024年度から交代するが、半数の委員は引き続いて担当できるように各部会理事に希望を伝えること、委員長候補者を理事会に推薦することとした。 ・基本は対面式であるが、参加者を30名に増やすためにオンライン参加も可能にする。 <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修費(案)は回数が4回となるため、4回セットで5000円とする。欠席の場合は資料を配信するので返金はしないこととした。 		
理事会での 検討事項	2023年度の点検・評価を踏まえて、2024年度の生涯教育基本研修の事業計画(事業概要と予算等)の検討を行う。		
今後の 検討事項	2023年度は部会別に検討課題に取り組んできたが、2024年度は多職種連携をめざして、課題を1つに絞って部会を超えてワーキングを行う。そのために、社会に求められる専門職として取り上げるべき課題について次年度の生涯教育委員会で検討する。		
委員会の 課題	2023年度は当初計画よりも参加人数が半数の20名と少なかった。参加者は意欲的に研修に取り組んだ結果として満足度が高かったことを踏まえて、2024年度の募集にあたっては、この研修のアピールポイントを検討する必要がある。		